問 学校トイレ洋式化は

答 体育館含め改修していく

河本隆志 議員（民主党）

のトイレの洋式化を進めていく考えは。

危機管理監 平成23年度から災害用備蓄倉庫を計画的に整備する中で、高齢者や女性に配慮した備蓄品を備蓄している。今後、ニーズに合わせ種類等を増やしていきたい。

教育長職務代理者 洋式トイレの改修は、修繕の必要なところから順次計画的に改修し、体育館においても避難所になることを意識しながら改修を行っていきたい。

②大きな災害には自治体間の自主的横断的支援が必要になってくる。「災害時相互応援協定」を含めた他の自治体との連携強化に努めるべき。

危機管理監 相互応援を想定した都市間交流は必要と認識している。現在、地震・災害等の体系の違いを前提とした候補地の選定を行っている。

③改正NPO法人等への寄附に伴う税制の優遇措置について市の考えは。

市民部長 地方税法を改正する法律が交付され、条例で指定すれば寄附金控徐として、個人住民税が減額できることになったが、現在のところ条例にもとづく指定は行わず、慎重に検討していきたい。

④第2次一括法等における市町村への権限移譲の対応と計画を問う。

総務部長 京都府から円滑な引き継ぎができるよう説明会や研修会が実施されており、関係機関とも連携を図りながら、全庁あげてしっかりと取り組んでいきたい。

⑤京都府が計画している総合スタジアムに本市が公募参加する姿勢を示したが誘致する目的及び、経済効果の見通しは。

市長 発展の新たなインパクトになり得るということで、庁内に検討委員会を立ち上げているが、公募参加の最終的な結論には至っていない。

校舎の新築工事等が行われている田辺中学校

①防災拠点として学校の役割の観点から、高齢者や乳幼児、女性に配慮した施設整備とまた、小中学校体育館など学校内

問 枚方市の震災がれき焼却は中止を

答 情報収集し話をしていく

塩貝建夫 議員（共産党）

①震災がれき処理について、枚方市は受け入れを表明しているが、放射能汚染の拡散につながる。枚方市東部（第二）清掃工場から6㎞圏内に京田辺市全域が入り、影響をうける。市長が枚方市に対して明確な意見表明をすべきと考える。

市長 私も枚方市には申し入れに行ったり、協議なり、情報収集等をしながら、話をしていこうと思っている。

②市で可能なエネルギー活用は、「太陽光発電」が有効と答弁されてきた。市が、啓発的効果の観点から、公共施設や小中学校から導入してはどうか。

経済環境部長 太陽光発電については、施設の新築や改築を機会に導入を図ってきたが、引き続き可能な限り導入していきたい。また、小中学校等の校舎の新増築に際しては、可能な範囲で設置したいと考えている。

③府営水道について市の認識を問う。㋐府営水と自己水の二源水確保が安定した水供給であると考える。㋑基本水量の料金単価を引き下げれば、さらに市の水道料金が引き下げできると考える。

水道事業管理者職務代理者 ㋐府営水と自己水の二源水確保が安定した水供給であると考えている。㋑料金単価については、府に対してはさらなる経営改善等による値下げができるよう要望していきたい。

④突然の府総合球技場誘致発言は大きな問題をはらんでいる。第3次総合計画、同実施計画のどこにも計画がなく場当たり主義的対応である。また、財源等誘致に係る財政計画も問題であり、誘致表明を撤回すべきと考える。

市長 京都府から専用球技場の新設に向け候補地の公募があった。府に調査票を出す、出さないの最終的な結論には至っていない。財源については早急に検討する。

枚方市東部（第二）清掃工場

問 直Qバスの同志社延伸は

答 現状では困難

鈴木康夫 議員（一新会）

①京阪バスが運行している直Qバスは、多くの市民が利用され好評である。さらに、枚方市の大阪国際大学へは一日14便往復し、多くの学生が利用されている。現在市役所まで来ている直Qバスを、距離にしてあと1㎞、同志社大学へ伸ばすことにより、多くの学生、教職員が恩恵を受ける。

安心まちづくり室長 松井山手駅から市役所までの区間は、車庫への入庫の際に新設された。京阪からは、この路線の延伸は困難と聞いている。

②第二京阪京田辺パーキング乗降客向けに準幹線沿いに、一般バスの停留所を設けるべき。

安心まちづくり室長 平成24年4月、新しい停留所の新設に向け、警察等関係機関と協議中である。

③JR松井山手駅の改札口が、狭く限界にきている。拡充を望む。

安心まちづくり室長 JR西日本に確認したところ、現在は、増設計画はない。

④京都市で計画されている「市民後見人の養成」について、市の考えは。

保健福祉部長 高齢者の増加に伴い、親族による成年後見が困難なケースが増える。しかし、現時点では、市単独ではなく広域的な対応を期待している。

⑤留守家庭児童会保護者へのアンケート内容とその結果は。また、危険遊具撤去の代替措置は。

教育長職務代理者 保護者の就労等の現状と24年度の入級希望調査を行った。60名中、長期休暇中希望が46名、平日希望が27名であった。まず、長期休暇中の課題について整理したい。24年の夏休みから実施の確約はできないが、努力したい。代替遊具については、低鉄棒、ジャングルジム、うんてい、登り棒、ブランコ等の6種類を予定している。23年度中に設置する。

直Q便を待つために大勢の乗客が並ぶ松井山手駅

問 1学期の定期考査回数は

答 田辺中は年5回実施決定

上田毅 議員（無会派）

①普賢寺地域における公共施設整備について。タイアップを図りJA普賢寺の建物を有効活用し行政サービス開始や消防出張所の設置を提案する。

市民部長 JA普賢寺の活用は、今後検討が必要ではないかと考える。

消防長 三山木・普賢寺地域を南部エリアとし、研究していきたい。

②南部住民センターについて。6月議会時に質問したが、つつきの郷向かいの池を利用し、公有地の有効活用として南部住民センターの建築計画場所として提案する。

教育長職務代理者 どのような施設が必要か開発状況・財政状況・配置計画等を見通しの中で改めて検討を進めたい。

③教育問題について。中学校の1学期における定期考査について田辺中学校において、「平成24年度より元通りに回復する」と学校長からの返答情報を頂いた。PTA会員方々の署名運動、生徒たちの強い要望もあった。大住中学校は、25年度の予定で定期考査を元どおりに戻す予定との情報も頂いたが間違いないか。

教育長職務代理者 田辺中学校は、24年度から実施する事が決定され報告も受けた。大住中学校は学校で年間計画を策定されると思うので教育委員会として、その確認はしていきたい。

④椋鳥問題について。椋鳥対策は改善されていないので要請した薬剤（B－ST）を試験使用し除去できる結果であれば使用していくべき。

経済環境部長 ふん害があるが電線に留まっているので、関電にお願いしている状況である。

⑤三山木地区特定土地区画整理事業地内にある農業用施設について。区画整理事業地内にある農業用施設は今後も、この場所でよいのか。

経済環境部長 現に利用されているので移転することは考えていない。

平成24年度から定期考査が5回実施される田辺中学校